

<5日目の午前>

議長：各国、NGOのコメントをアネックス3と4をまとめたが、CRP（コンフェレンスペーパー）にした。CRPは議論の透明性と継続性を維持するために必要。今回提出したレポートについて意見を聞きます。2週間の間にコメントや訂正があれば事務局に。

インドネシア：宣言案の実質的な内容について、前文33を創出するという提案。

チュニジア：今回いただいたレポートの性質を理解できていない。アネックスの3、4がなくなつたことに失望。アネックスは今会期の実質的な部分と考える。アネックスがなくなると出発点に戻ってしまうのでは。手続き的な国連の慣行が実質的な作業よりも優先順位が与えられているのではという懸念。朝くばられたレポートは一般的で無記名である。いくつかの国は国名が入ることの懸念は理解しているので、国名を消すのみでいいのでは。アネックスを翻訳してほしいという要請はしたが、アネックスの地位を変更してほしいと要請していない。

（議長：（ちょっとキレて）議論のスタート地点に戻すつもりはない。アネックス3、4の削除は、会議後、多くの国家代表にあつて話した結果。今日、渡した報告書の性質は、理事会に提出するもの。チュニジア、それでいいですか。

チュニジア：この問題は私たちの国家利益のために言っているのではないので、チュニジアの意見ばかり聞かれても困る。アネックスがなくなるのはこの作業部会の意味がなくなってしまうと考えるので、国名をはずしてアネックスを戻してほしい。

ブラジル：アネックスをCRPにすることは歓迎し、適切だと評価する。報告書については、本来は昨晚いただいて、本国と連絡するつもりでいたが、今朝配られたのですぐコメントすることは難しい。2週間以上、コメントする時間がほしい。ただ、現在行われているプロセスについては少し明確さを欠いていると考える。この報告書の次の段階をどう考えているのかはつきりさせてほしい。この報告書は新しいものと位置づけられているが前と同じなのでは。

議長：確かに昨日配布したものの最後に、結論と提言をつけて、その部分が新しいもの。今日コメントできなくても2週間以内にコメントしてほしい。アネックスの位置づけはCRPにしても、次回のWGで配布することを約束する。CRPでは不十分であるという国があれば、別の提示も考えたい。

EU: アネックス 3 と 4 を削ってほしいとリクエストした国の 1 つ。各国代表については本国の指示なしの発言があるので、その削除をお願いしたい。今後の 審議の唯一の基礎となるのが、議長がこの会期に先立って提出した草案 と思っている。

アルジェリア: アネックスの問題については昨日議論した。作業部会の努力が失われてはならない。アネックスがつかないのであれば努力が失われている。議長が妥協点を見出すことを希望する。今日もらった報告書はファイナルなものではないと考えている。議長がこの会期に先立って提出した宣言案は、この会期の議論のためで、今後のためではない。また報告書も今後の議論のためのもではなく、アネックスは単なる CRP ではないと考えている。

(議長; (怒って) 立場がないです。会議室の中で議長は立場を変えてしまったのではないかという雰囲気を感じている。快適ではない。どちらかの肩を持つということは毛頭ない。会議後、多くの国家代表とあってアネックスを変えることがみなさんの意図だとくみ取った。私は常にニュートラルだと貫いたが、どちらかについているという印象を与えているなら非常に残念である。正直いって今日はレポートを採択しなければならないので、あなたたちは私を助ける義務がある。国家代表のほうが私よりこのような議論は経験を積んでいると思うので、アネックスについて建設的意見を出してほしい。解決策を提案してデッドロックから抜け出す提言をしてほしい)

ウルグアイ: チュニジアと同意見。アネックスは重要。この作業部会の重要な仕事はコンピレーションの中、アネックス、3、4に入っていると思う。しかしあなたのリーダーシップには信頼をおいているので、アネックスについてはフレキシブル。

(議長: ウルグアイの理解に感謝。国名について代表が気にしたため。ほかの意図はない)

エジプト: アネックスの問題については、この会期における事実に、手続き的なものをきちんと反映している。あなたのまとめたものが良いものだとしても、作業の事実を伝えるものではない。というのは、あなたの報告書には、意見が載っているものもあれば、載っていないものもある。報告書はそういうものである。私の提案は、アネックスにしないのなら、人権理事会の理事長からのレターという形で正式な国連文書として配布するという方法がいいのでは。

ロシア: この会期は成功だったと考えている。いくつかの国家代表がアネックスにすることを躊躇している。アネックスを CRP にするのは受け入れられる。ほとんどの意見は報告書の中に入っている。ロシアとしては、国連の公式 NO を振って国連のサイトに掲示し、できれば未来永劫掲載されることを望む。EU がさきほど、これから議論のベースは 会期の前に

議長のペーパーとこの会期で行われたすべての作業が今後の基礎といたが、違う。

これから 2 週間のあいだに各国から寄せられたコメントをどう扱うかはっきりさせてほしい。

(事務局：これから 2 週間の間に寄せられたコメントを集積して、必要に応じて追加修正します。矛盾する点は協議します)

シンガポール：アネックスについては議長の提案を支持。CRPにした場合、国連の正式のNOを与えられないことを望む。

ウルグアイ：議事進行に驚いている（EUが言ったこと）。次の会期の基礎となるのは、議長が今回会期前に出した宣言案ではなく、今回のCRPでもなく、今後議長が出してくる新しい宣言案だと考える。アネックスがそのまま残るのであれば、問題が残るのでアネックスは削除してほしい。

アメリカ：議長の仕事を支持します。とくに透明性を保って充実した議論ができたのは議長のおかげ。今会期の内容は議長のレポートに集約されていると考える。EUは、アネックスは今後の議論の基礎ではない。だからCRPとして扱うのは適切である。CRPはネット掲載でもいいし有効なツールになると理解している。アネックスにするというのは誤解を招く。

キューバ：たくさんの国が本国の指示なしに発言したということを理解している。コンプレーションは今後の議論になると理解している。ロシアの提案（ワーキングペーパーに国連NOを与えてインターネットに提示する）というのに賛成。

チュニジア：議長のリーダーシップに堅い支持を与えており、最終的には議長の提案を支持する。ただいくつかの国は本国の指示がなかったにせよ、ほかの国は本国の指示があって発言しているのだから、事実に、実質的なものでもある。ワーキングペーパーをもう1回作ってほしい。

ブラジル：議長に対する信頼を強調する。ただ明確性を求めている。今朝、異なるいくつかの意見を聞いた。特にEUが、議長が最初に提示した案が今後のベースになるといったがそうではない。今回の作業が今後のベースになると考える。質問。どちらが今後の基礎になるのか。2つめの質問。コンプレーションをアネックスにするかワーキングペーパーにするのか。もう1つの問題として、非常に具体的で明確な修正案を出

したが、その文言はレポートに反映されていない。レポートに反映することをのぞむ。3つ目の質問。あなたの案の提案をさらにしたい場合はどうしたらいいか。4番目の質問。CRPにしいた場合、国名は残るのか。

(事務局：ワーキングペーパーは作業のための文書という位置づけ。レポートは正式な報告書で寿命も長い。法的地位はワーキングペーパーも国連の正式な文書ということは変わらない)

ロシア：ロードマップとして、議長はだ3会期に新しい宣言案を出すといっているが、報告書については議長のリーダーシップを信頼しているので、そんなに問題はないのでは。例えば先住民の作業部会については、常に作業部会のCRPが付属されていたが、メンバーはCRPの取扱いに満足していた。CRPをネットに掲載されれば問題ないのでは。

チュニジア：我々は議長のリーダーシップにチャレンジするという意図はまったくなかった。議長に全面的な信頼をおいている。議長にどのような方法でも協力する。しかし、チュニジアとしては今度の人権理事会で平和への権利が採択されてしまう試みがあるのではないかという疑念を持っている。だから我々は次の作業部会への扉をあけておきたい。そのことを懸念しているのでアネックスについて意見を言った。

(議長：信頼していないとは思っていません。過剰反応してすみません。)

EU：先ほどの補足。今会期の作業が失われることは望んでいない。アネックスの削除はうれしい。今後は新しい宣言案を議長が作ることになるので、新宣言案が今回の案と入れ替わって議論がすすんでいくというと考えている。

アルジェリア：議長への支持を表明したい。アネックスについて強く主張した。ただ議論を先に進めなければならないのでフレキシブル。ただレポートには我々の立場が完全に反映されなければならないと考えている。9月の人権理事会がどういう決定することに向かって、今回のすべてのドキュメントが失われないということを強調したい。

インド：本国の指示がなかったので参加できなかったことをお詫びする。議長の結論でOK。CRPに国連NOがついてネット掲載についてOK。ロードマップについて質問。議長として会期後、非公開な議論をするつもりか。

(議長：望まれるのであれば設定します)

(NGO)

ヤングピースビルダーズ・オリバー

CRPをオフィシャルペーパーにしたり、などの提案はいいが、次の提案をしたい。報告書の最後に注意書きをつけて、示された国家の意見やコメントは予備的なものであって、必ずしも本国からの指示を受けたものではないとして、国名は削除してアネックスをつけるという提案をする。

23・マリア

アネックスは重要。正式な文書にしてほしいしネット掲載してほしい。ヤングピースビルダーズと同じように、予備的な文書であって各国は必ずしも本国からの指示を受けていないということを明らかにすればいいでしょう。

デサヤス氏

最後の2つの提案（オリバーとマリア）を支持する。私は本国からの指示を受けずに発言した国々の懸念を理解する。国名を削除しアネックスを残すことを提案します。